

“体験型”出前授業を展開

2023年6月23日(金)

建設通信新聞(第5面)



小型バックホウの操作体験

神建協

魅力発信、進路選択の一助に

神奈川県建設業協会(松尾文明会長)は22日、横浜市内にある神奈川県立磯子工業高校建設科2年生(35人)を対象に出前

プログラムを提供した。楽しみながら建設業の仕事の魅力や、建設業の現状や将来の担い手として期待される工業高校の生徒に建設業の魅力を感じてもらいたいことが狙い。人材確保に向けた新規プロジェクトとして、2023年度は建設系学科を持つ工業高校など全6校で「体験型」の出前授業を開く見通しだ。

授業を実施した。将来の担い手として期待される工業高校の生徒に建設業の魅力を感じてもらいたいことが狙い。人材確保に向けた新規プロジェクトとして、2023年度は建設系学科を持つ工業高校など全6校で「体験型」の出前授業を開く見通しだ。

第一弾となった磯子工業高校の出前講座は、協会に加盟する4社(小俣組、浜崎建設工業、花和産業、相模開発)の協力を得て、建設現場の空撮に使うドローンの操作や、バックホウな

ど重機への搭乗体験、遠隔操作による塩ビ管の削孔など多彩なプログラムを提供した。楽しみながら建設業の仕事の魅力や、建設業の現状や将来の担い手として期待される工業高校の生徒に建設業の魅力を感じてもらいたいことが狙い。人材確保に向けた新規プロジェクトとして、2023年度は建設系学科を持つ工業高校など全6校で「体験型」の出前授業を開く見通しだ。

現場の第一線で活躍する会員企業の社員が講師となり、生徒に建設業の魅力を感じてもらおう「出前授業」の実施によって、今後の進路選択の一つとして地元建設業への入職を促す。

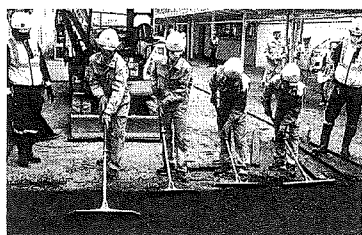
磯子工業高で 出前講座開催

神建協

神奈川県建設業協会は、22日に神奈川県立磯子工業高等学校の2年生を対象にした出前講座を開催した。建設科の生徒35人と教員が参加し、講師の会員企業の社長や社員らからレクチャーを受け、熱心に実習に取り組んだ。

「ドローン(小俣組)」「舗装(相模開発)」「遠隔の削孔(花和産業)」「人

い(浜崎建設工業)の4講座を用意。生徒たちは、ドローンの操縦やアスファルトの舗装体験、塩ビ管の削孔、バックホウ搭乗体験などを楽しみながら体験して回った。工業高校への出前講座は、協会が本年度から始めた新規事業。出前講座を通じて生徒に建設業を身近に感じてもらう、地元建設業への就職者を増やすことが狙いだ。本年度は小田原城北工業高校、神奈川工業高校、向



アスファルトの敷き均しを体験する高校生ら

2023年6月26日(月)

建通新聞(第3面)